



平成29年8月31日

各 位

会 社 名 株式会社 新日本科学
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 永田 良一
(コード番号: 2395 東証一部)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 高梨 健
(TEL:03-5565-6216)

子会社事業の経営権の譲渡に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、弊社の米国前臨床事業 100%子会社である SNBL USA, Ltd. (米国 Washington 州; 以下「SNBL USA」) が、Texas 州 Alice 市において、動物輸入検疫および飼育・販売事業を運営してきた Scientific Resource Center (以下「SRC」) を分社化し、独立した事業体として運営変更することに合わせ、同事業の経営権を Orient Bio Inc. (韓国 Seoul 市、以下「OrientBio 社」) に譲渡し、業務提携契約を締結することを承認、決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. SRC事業会社の経営権の譲渡の経緯及び目的

SRC は、2007 年、米国での前臨床事業を推進する一環として、弊社グループの動物繁殖施設 (カンボジア、中国) から実験動物 (霊長類) の輸入検疫を実施し、また、米国における動物飼育受託事業、動物販売事業を行う施設として設立されました。SRC は設立以来、弊社グループの繁殖施設との連携を順調に軌道に乗せ、当初に企図していた SNBL USA への実験動物の安定供給という機能を十分果たす事ができるようになるとともに、米国における動物受託飼育事業および動物販売事業の経営基盤を構築して参りました。

こうした中、韓国を拠点にアジアにおいて、実験動物販売などを幅広く展開する OrientBio 社から SRC の事業を継承したいという申し出がありました。OrientBio 社は、自社の動物繁殖場のネットワークを活用しながら、米国での動物輸入事業および動物販売事業などを展開したいとの計画があり、双方で十分に検討を重ねた結果、弊社は同事業を分社独立させ、新たに OrientBio 社のもとで事業成長を図る事に合意しました。

SNBL USA は、今回の SRC 事業の分社化と経営権の移管に伴い、OrientBio 社との間で実験動物 (霊長類) に関する長期供給契約を締結することにしました。このことにより、弊社が海外に有する動物繁殖施設から高品質な動物を継続的に SNBL USA に安定供給でき、加えて OrientBio 社が有する動物供給ネットワークも活用できる事となります。

なお、今回の SRC 事業の分社独立により、SNBL USA は研究受託事業に専念でき、固定費の負担軽減等含めて、効率的な経営体制が構築できます。

以上のとおり、SRC 事業を OrientBio へ移管していくことで、今後も SNBL USA の事業価値を高めることが可能であると判断したことから、本件の実施について承認決議いたしました。

2. 異動する子会社（SRC 事業）の概要

(1) 名 称	Orient BioResource Center, Inc.	
(2) 所 在 地	2103 FM625, Alice, Texas 78332, USA	
(3) 代表者の役職・氏名	President Gary Jacobson	
(4) 事 業 内 容	動物輸入検疫及び飼育	
(5) 資 本 金	10百万米ドル	
(6) 設 立 年 月 日	2017年6月22日	
(7) 純 資 産	10百万米ドル	
(8) 総 資 産	10百万米ドル	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社新日本科学 100.0%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社は当該会社の発行済株式総数の100%を保有しております。
	人 的 関 係	当社の役員1名が当該会社の役員を兼務しております。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

3. 相手先の概要

(1) 名 称	Orient Bio Inc.	
(2) 所 在 地	322 Galmachi-ro, Jungwon-Gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do 13201, South Korea	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO Jae Jin Chang	
(4) 事 業 内 容	韓国を拠点とする実験動物販売※	
(5) 資 本 金	80,530百万韓国ウォン	
(6) 設 立 年 月 日	1959年4月16日	
(7) 純 資 産	71,737百万韓国ウォン	
(8) 総 資 産	94,642百万韓国ウォン	
(9) 大株主及び持株比率	MDAS社（Chang氏がオーナーの非公開会社）等 24.52%	
(10) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該 当 状 況	該当事項はありません。

※ OrientBio社は、マウス、ラット、モルモット、ハムスター、ウサギ、ビーグル、霊長類などの実験動物に関し、生産から供給までを一貫して行っており、この分野では韓国で最も主要な企業です。また、同社は、安全性評価や新薬開発サービスを含むCROサービス、並びにげっ歯類手術、検査診断、トランスジェニック、遺伝子検査及びその他のサービスなどのサポートサービスも提供しています。ORIENTグループ全体では、子会社（韓国で上場している子会社を含む）とともに、飼料、試薬、消毒剤、自動車部品、電源装置などの機器を提供しています。

4. 経営権譲渡の要旨

(1) 譲 渡 の 日 程	平成29年9月1日（日本時間）
(2) 譲 渡 株 式 数	1,000 株（譲渡価額：10百万米ドル）
(3) 異動後の所有株式数	0 株（所有割合：0%）

5. 日程

- (1) 取締役会決議 平成29年8月31日
- (2) 株券引渡期日 平成29年9月1日（日本時間）

6. 今後の見通し

現在、連結子会社異動による当社業績に与える影響を精査中であり、業績に影響を与えることが明らかになった場合、速やかに開示いたします。

以 上